

就職課から インターシップに参加しよう!

3年次生の皆さんへ

6月になるといよいよインターシップシーズンの開幕です! インターシップ情報の宝庫である就職情報サイトへの登録は済みましたか?

またの方は今からでも大丈夫。就職課では①マイナビ②あさがくナビ③キャリアス就活④ダイヤモンド就活ナビ⑤就職ウォーカーNET⑥プランナビの6社をお薦めします。まずは登録して、「どこでやるか」より「何をやるか」が大事! 今年の夏はインターシップへGO!

4年次生の皆さんへ

4月30日〜5月2日の「学内企業説明会in生田」は、企業約300社、学生約1000人が参加して大盛況のうちに幕を閉じました。当日参加できなかった皆さんのために、「学内企業説明会」をこれからも開催します。その名も「学内企業説明会inサテライト」。詳細はポータル、Sineにてお知らせします。また、就職相談も随時

シリーズ 商学部50周年 6

夕闇の神田キャンパス、足早に教室に向かうのは二部の学生だ。動きながら、あるいは社会人になってから大学で学ぼうとする学生たちは胸に強い志を秘める。プロ野球の読売ジャイ

「どこかで妥協してたら就職課程は取れなかった」と振り返る。単位が取りやすいというわざから「公民」の先生を目標に、苦手な法学部の授業を多く取る結果に。「教えてくだささい」と誘われて入った軟式野球のサークルで学生生活を味わ

い、母校での教育実習も経験した。今年で30歳、大きな達成感と共に手にした教員免許は「平岡監督」の夢へと続いている。

初志貫徹し教員免許

野球教室コーチ 平岡さん

アンツに在籍し、高卒ルーキー投手として1軍のマウンドを踏んだ平岡政樹さん(平23商)もその一人だった。「いつか監督として甲子園を目指したい」と引退後21歳で入学。4年間で高校の教員免許を取得するという初志を貫徹した。

球団の子ども向け野球教室「ジャイアンツアカデミー」のコーチを務め、平日は2コマ、土曜日は6コマを受講。帰宅後も夜中まで机に向かう毎日、1年次の前期が終わる頃には4年で卒業しようという覚悟を決めた。徳島商業高を2003年のセンバツ4強に導いた右の本格派。その年の

仕事をしながら大学に通いたいと球団に伝えると、専大などの二部の試験に間に合うと話が進む。アクセスが良く、高校時代に簿記に親しんだことから本学商学部へ。子ども好きを見込まれコーチの仕事も得た。仕事の都合で6限は遅刻せざるを得ない。遅れても必ず出席すれば単位



子どもたちに打撃を指導する平岡さん(円内も)。野球の楽しさを伝えたいという

二部・卒業生

受け付けています。一人ずつと一緒に頑張りました。就職課スタッフよう!

「大地のつくり展」ポスター制作

ネットワーク情報 望月陽太さん



川崎市登戸小学校の児童と交流し、わかりやすくするためになる教材の完成を目指した。昨年度は同小で6年生に発表後、「大地のつくり展」(2月1日、かわさき市と緑の科学館)として一般にも公開された。望月陽太さん(現在は3年次)は「写真」はその告知ポスター「同巻」の作者。指導する上平崇仁

外国語のススメ 外国語教育研究室

ナウムブルク・ヴェンツェル教会(左)とオルガン

寺尾 格 経済学部教授

「オルガン」と言えば、校庭に響く足踏みの音色(古い!)の連想がありますが、本来は「パイプオルガン」のことです。英語のorganは「臓器」の意味も含むように、ドイツ語のOrganは「臓器」で、楽器の「オルゲルOrgel」とは区別しています。ヨーロッパの街には必ず教会があります。見上げるような高さの石の柱と天井の向こう正面に十字架の祭壇があり、静かな薄暗がりには蠟燭の炎が揺れて、お祈りの人の姿も見受けられます。祭壇の反対側(つまり入り口)には、通常、銀色のパイプが大小さまざまに並んだOrgelが設置されています。南部のカトリック教会ではバロック

オルゲルの響き

風の絢爛豪華さが目立ちますが、北部のプロテスタント教会では、かなりシンプルな造作となります。運よく誰かが練習をしていると、石造りの広い空間は残響の効果が素晴らしく、全身を震わすような重低音と、輝くように多彩な高音の疾駆と、まるで息吹のような弱音の繊細さが、次々と果てしなく重ねられて、ほとんど忘我の経験となります。Orgelの演奏が終わると、かすかな残響は、華やかな音に包まれた身体に記憶と呼応して、眼で見ることのできない「何か」の気配を感じさせてくれます。教会という石造りの「空間」は、オルガンという「臓器」を含んだ、大きな「楽器」と言えるかもしれません。(外国語教育研究室長) ※短縮版。全文はCALL 教室ホームページで。

謎解きで図書館を知る

企画展「レディ・Sからの挑戦状」



館内にはさまざまな謎がちりばめられている

「図書館で学部学生が借りられるのはずばり何冊で何日まで」「レファレンスカウンターとは」「図書館企画展「レディ・Sからの挑戦状」が4月1日から始まりました。参加者は図書館本館(生田キャンパス9号館)の中をめぐるが、どこでどこに仕掛けられた謎解きをする。



教授(グラフィックデザイン、今年度はデザイン)に、今年度はデザインで在外研究に依頼され、Adobe Illustrator 2年次生は、Corelを使って仕上げた。後期の応用演習で小学生向けの理科の体験教材づくりに挑戦する。川崎市登戸小学校の児童と交流し、わかりやすくするためになる教材の完成を目指した。昨年度は同小で6年生に発表後、「大地のつくり展」(2月1日、かわさき市と緑の科学館)として一般にも公開された。望月陽太さん(現在は3年次)は「写真」はその告知ポスター「同巻」の作者。指導する上平崇仁

「すっきりまとまって親しみやすい」と上平教授から合格点をもらったポスターは同科学館のFacebookやTwitterに添付され、展示発表会に多くの家族連れを呼び込んだ。同展では、学生42人が8グループに分かれ「地震」「火山の切り口で大地の成り立ちや仕組みについて提示した。望月さんのグループ

「図書館で学部学生が借りられるのはずばり何冊で何日まで」「レファレンスカウンターとは」「図書館企画展「レディ・Sからの挑戦状」が4月1日から始まりました。参加者は図書館本館(生田キャンパス9号館)の中をめぐるが、どこでどこに仕掛けられた謎解きをする。

図書館に関するものや頭を使う脳トレクイズのよなものまで質問は30問を超える。期間中、本学の学生なら自由に参加できる。最後の謎まで解けると景品がもらえる。5月13日現在、最後の謎まで解けた参加者は19人。この企画のおかげで、図書館の中の位置関係がよくわかった(文

「図書館で学部学生が借りられるのはずばり何冊で何日まで」「レファレンスカウンターとは」「図書館企画展「レディ・Sからの挑戦状」が4月1日から始まりました。参加者は図書館本館(生田キャンパス9号館)の中をめぐるが、どこでどこに仕掛けられた謎解きをする。